



KATORI

令和4年3月30日

千葉県香取市

佐原三菱館保存修理竣工に伴う報道機関向け内覧会を開催します

令和元年に着手した千葉県指定有形文化財三菱銀行佐原支店旧本館（佐原三菱館）の保存修理工事が完成したことから、一般公開に先立ち、報道機関向けに内覧会を開催するものです。

【日時】 令和4年4月4日（月） 午後1時30分～

【場所】 佐原三菱館 千葉県香取市佐原イ 1903-1
駐車場は町並み交流館の駐車場をご利用ください。

【内容】 復原修理が完了した建物の内部を公開します。

【説明者】 香取市教育委員会生涯学習課文化財担当者

【竣工式】 令和4年4月9日（土） 午前10時30分から

【一般公開】 令和4年4月9日（土） 午後1時から

※取材される場合は、準備の都合上、4月1日（金）までに参加人数を連絡ください。

問い合わせ先

香取市教育委員会 生涯学習課

担当 課長 高岡洋一

電話 0478 - 50 - 1224

F A X 0478 - 55 - 5550





●施設概要

建築年：大正3年（1914）12月 川崎銀行（後、三菱銀行）佐原支店として
建築された。設計・施工は清水満之助商店（現清水建設株式会社）

床面積：76.75 m²

構造：煉瓦造り二階建（内部は吹き抜け）

●保存修理事業費

耐震診断費	11,880,000円
基本・実施設計費	33,818,558円
実施設計技術支援費	36,555,840円
工事監理費	28,136,900円
工事費	630,326,400円
計	740,717,698円

●事業期間

平成26年9月1日～令和4年3月25日



Koji Fujii / TOREAL





Koji Fujii / TOREAL

復原された内観

●工事関係者

建築工事一式・
実施設計技術支援業務

千葉県千葉市中央区富士見二丁目 11 番 1 号
清水建設株式会社千葉支店

耐震診断・設計・
監理業務

東京都港区赤坂 9 丁目 6 番 14 号
株式会社坂倉建築研究所



●整備方針の内容と成果

安心して暮らせる住環境の整備

【内容】住宅密集地や主要地方道に接する立地環境から、目標とする構造耐震指標（Is値）は「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」及び「重要文化財（建造物）耐震診断・耐震補強の手引き」に基づく大地震時に倒壊しない「安全確保水準」とするため、0.6以上とした。耐震補強については、内外観の意匠を保存するため、補強部材を極力見えない状態にする。

【成果】建物の内外観の意匠を残すために、煉瓦壁の上端から下端まで削孔し、鋼棒を通して煉瓦壁に圧縮力を加える工法（P C補強工法）とした。さらに本工事では、従来のP C補強工法に加え、基礎部の損傷範囲を抑えた最新工法を採用した。鉄骨のトラスは、屋根裏と回廊に廻すことで補強材を極力見えない状態にすることができた。構造耐震指標の目標値である0.6を上回ることができた。（Is値⇒耐震診断時→耐震後 北面 面内0.252→0.606、面外0.049→0.604）

また訪れたくなる魅力にあふれた町並みの整備

【内容】町並み保存のシンボルである本建物の文化財価値を最大限に高めるため、創建当時の姿に復原することとし、失われてしまった暖炉や螺旋階段、受付カウンターなどの詳細な調査を行い、当初と同じ材料・同じ工法によって復原する。

【成果】設計図や建物の詳細な痕跡調査、類例調査を行い、暖炉・螺旋階段・受付カウンターを復原することができた。暖炉に使用した大理石は山口県産の大理石を使用し、受付カウンターは静岡産のケヤキ材を使用している。

歴史文化と観光の交流拠点としての整備

【内容】重要文化財の指定を受けることで、名実ともに伝統的建造物群保存地区の拠点施設として位置付けることができ、あわせて町並み観光の拠点施設としての活用が期待される。そのため、本保存修理工事の仕様は重要文化財と同レベルとする。

【成果】重要文化財建造物と同等の仕様とするため、文化財建造物の専門家の指導を受けながら保存修理を行った。これにより、質の高い修理を行うことができた。

郷土を愛する心を育む歴史文化の継承

【内容】100年前の姿を顕在化することで、その時代をリアルに感じることができる。本建物をとおして歴史や文化財への理解と、郷土への誇りや愛着を育むための教材として活用する。

【成果】大きく改変されていた内観は、大正3年当時の銀行の姿を取り戻すことができた。実物をとおして郷土の歴史への理解を深める機会の提供が可能となった。